

成績評価の客観的な指標を設定

本校では、成績評価の指標としてG P Aを採用している。

学業成績を授業科目ごとに定期試験、実技試験、提出課題等の状況により100点満点の範囲内で評価される。

本校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～85を優、84～70を良、69～60を可として、成績が通知される。各授業の成績評価を既定の数値に置き換え、1授業あたりの平均成績を算出する。各成績を優（3点）、良（2点）、可（1点）のG Pに置き換え、G P Aを（Aの単位数×3+Bの単位数×2+Cの単位数×1）の合計を、各生徒が履修済みの総単位数でした数として求めることによって算出する。

| 評価点 | 評価 | G P | 評価基準 |
|--------|----|-----|-----------------------|
| 100～85 | 優 | 3 | 到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている |
| 84～70 | 良 | 2 | 到達目標を達成している |
| 69～60 | 可 | 1 | 到達目標を最低限達成している |
| 59以下 | 不可 | 0 | 到達目標を達成していない |

G P Aの算定式は、以下のとおりである。

$GPA = (\text{優の総単位数} \times 3 + \text{良の総単位数} \times 2 + \text{可の総単位数} \times 1 + \text{不可の総単位数} \times 0) / \text{GPA対象科目の総履修登録単位数}$

